学校番号	１０１２

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
講座名	書道Ⅰ						
使用教科書	「書Ⅰ」（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業を基礎として書道の幅広い活動を展開し、個々の生徒の個性や能力を活かした芸術としての書表現が出来るような基礎技術の習得。
・基礎書体や行草と楷書の相違点など書体や用筆法を体験する。筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書き、また他の作品を鑑賞出来る能力を身につけることを目指す。
・また自身の作品を制作することで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観点の趣旨	・書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表現している。	・書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	・書写と書道の違い （書体の変遷） 古典(楷書)臨書学習 ・『九成宮醴泉銘』 ・『孔子廟堂碑』 ・『顔氏家廟碑』 大阪府高等学校書道コンクール作品の制作 篆刻の学習 ・自分の姓名印を刻す	a: 書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、理解しようとしている。（知） b: 古典のよさや美しさを感じとり、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 a: 線質、字形、構成等の要素と表現効果や書の味わいとの関りについて理解している。(知) c: 姿勢や執筆法の基本を理解し、表現している。 c: 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑)	作品	作品	振り返り 活動の様子
2学期	篆刻・行書・仮名の書	古典(行書)臨書学習 ・『蘭亭序』 ・『風信帖』(第一通を全臨) 仮名の書の学習 ・『高野切第三種』の臨書	c: 篆書の歴史と印の必要性を理解して意欲をもって制作に取り組んでいるか。 b: 篆刻の用具用材や刻し方を正しく理解し工夫して表現している。 a:行書と楷書の違いを理解している。 b:行書の基本的な用筆を理解し表現している。（筆脈） a: 仮名の基本用筆・運筆法を理解している。	作品	作品	振り返り 活動の様子
3学期	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の作品制作 語句 の選定 文字調べ 草稿作成 半紙で練習したのちに 作品に応じた紙(サイズは未定)に制作する。落款と押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	a: 用具、用材の特徴と表現効果、名筆や現代の書の表現と用筆、運筆について理解している。(知) a: 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解している。(鑑・知) a: 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。(技) b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、意図に基づいた表現で工夫している。 b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) c: 自身の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現で学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返り 活動の様子 鑑賞シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現
c:主体的に取り組む態度